



ひばり

若松小学校・府中第二小学校
特別支援教室「ひばり」教室便り

令和6年5月2日 No.2
府中市立若松小学校
拠点校校長 生井 信太郎

新緑がきれいな季節になりました。4月の保護者会には、年度始めのご多用な中、多数の方々にご参加いただきました。書類のご提出や、三者での連絡帳のやり取りにもご協力いただきありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

新学期が始まって約1ヶ月が経ち、新しい環境にも慣れてくると同時に、運動会の練習も始まり少しずつ疲れが出てくる頃です。子供たちからの「疲れた。」などの本音を受け止めつつ、リラックスできることを取り入れながら、頑張りを認めることで、次へのエネルギーに繋げていきたいですね。

◎5月の学習内容

低・中学年グループ		高学年グループ	
個別学習	個に応じた課題	個別学習	個に応じた課題
小集団学習	■ルールの順守 ■ <u>感覚</u> を表す言葉 ↳ 触覚、聴覚、視覚など ■マナー	小集団学習	■スピーチと質問 ■ウォームアップ
			■自分のめあて ■共通点探し ■自分の気持ち

◎5月の予定

< 若小・二小 > 5月27日(月) 運動会の振替休業日 ※ひばりの指導はありません。

5月30日(木)は月曜グループの振り替え指導になります。※木曜グループの指導はありません。



ひばり教室より



●「ひばりのめあて」とは?●

ひばりでの学習のキーワードです。「すなお」「まあ、いいか」「きょうりよく」の3つがあります。子供たちには、この3つができるようになると安心して周りの人たちと楽しく生活ができると話しています。高学年については、3つのめあてと共に、自分のめあてを決めて取り組んでいきます。どの学年でもまずはひばりの中で「できた」を積み重ねていき、「いつでも、どこでも、だれとでも」できるようになることを目指して指導しています。

ひばりに通う子供には、認知のアンバランスさから、自分のやり方に固執したり、新しい取り組みへの不安から行動をためらったりする子もいます。「すなおに聞いたらうまかった」「まあ、いいかと切り替えができた」「人ときょうりよくして心地よかった」等の体験をさせることで、気持ちや行動を切り替えることができるように指導していきます。在籍学級やご家庭でも具体的な場面の中で、これらのキーワードを活用していただけたらと思っています。

1学期は、3つのめあてのうちのすなおに重点を置いて指導を行います。「すなおに謝る」「言われたことにすなおに取り組む」「アドバイスをすなおに受け入れる」など、学習の中で子供たちの「すなお」を見つけて、即座に言葉で伝えていきます。「すなお」がどういうことかを子供たち自身が実感し、「すなお」ができるとうまくいく、という体験を積み重ねられるように指導していきます。

●「ひばりの約束」とは?●

ひばりを始め、学校で安心して過ごすためのルールです。「分からないことがあったら先生に聞く」、「先生に伝えてから行動する」、「先生や友達の話最後まで聞く」この3つをどの場所でも守りながら学習に参加できるように、指導していきます。



在籍学級の先生方へ

ひばりの指導と行事練習等が重なるときについて

これから始まる運動会練習とひばりの指導が重なるときは、子供の実態（練習に参加しないと不安になってしまう、集団で同じ動きをするのが苦手など）から、その時間の練習が必要か否かを考えた上で、保護者の方に連絡を入れ、相談をしてください。

ひばりに出席するか練習等に出席するか、または各1時間ずつにするかなど、決定したことをひばり専門員また教員と、児童本人に必ず伝えてください。よろしくお願いします。

（※例：「○時間目は練習に参加して、○時間目はひばりへ行きます。」）

◎保護者の方へのお願い

*「特別支援教室届け」のご提出をありがとうございます。電話連絡や指導等にすぐ必要となりますので、まだのご家庭はご提出をお願いします。

*ひばり担任は曜日ごとに2校で巡回指導を行っています。連絡したいことがありましたらひばり教室専用携帯までご連絡ください。指導中等で繋がらないこともありますので、その場合は、第二小・若松小の代表番号までお願いします。



ひばり教室との連絡はこちらの電話番号をお使いください。ぜひ、ご登録をお願いします。

若松小ひばり直通 携帯番号



◎4月の児童の様子

4月の初回は、1時間の個別学習からスタートしました。（もう1時間は新しいクラスでの様子を参観させていただきました。）ひばりでの新しい仲間や先生との出会いでしたが、どの子も楽しそうに自分のことを話す様子が多く見られました。また、小集団学習の中で、仲良くなる活動として「自己紹介」や「体じゃんけん」を行いました。不安や緊張ではじめは硬かった表情が活動を通して徐々にほぐれていき、自分らしさをのぞかせる子も出てきました。まずは、いろいろな自分に気付くことから始めて、関わり合いの中で少しずつ友達への関心もてるように指導をしていきます。

